

石川県民意識調査

～あなたのご意見をお聞かせください～

石川県では、県の総合計画である「石川県長期構想」の策定（平成28年3月）後、社会のデジタル化やカーボンニュートラルの推進、新型コロナウイルス感染症など、社会・経済情勢が大きく変化していることを踏まえ、新たな総合計画として、「石川県成長戦略（仮称）」を、令和5年秋頃に策定することとしております。

本調査は、この成長戦略の策定に際して県民の皆様のご意見をお聞きし、参考とさせていただくためのものであり、無作為抽出によりあなたを回答者のお一人に選ばせていただきました。

お忙しい中、まことに恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただいてアンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。ご協力頂いたアンケートの結果は、統計的に処理された上で活用されますので、個人が特定されたり、回答結果が明らかにされることは、一切ございません。是非、率直にお答えください。

令和4年9月
石川県

＜回答に際しての注意点＞

- ◆ このアンケートは、あて名のご本人がお答えください。なお、ご本人が回答困難な場合や入院中などの場合は、ご家族や周りの方が介助いただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。

アンケートの回答方法

- ◆ インターネット上のホームページを見る画面（ウェブブラウザ）の、アドレスを入力する欄（検索したい言葉を入れる欄ではありません）に「URL」を入力し、回答画面へ移動してください。
- ◆ スマートフォンやタブレット等で右のQRコードを読み込んでいただいても回答画面に進めます。
- ◆ 無関係の者等による不正アクセス防止のため、このページ右上の調査票IDを入力し、画面の説明に従って、回答を進めてください。
- ◆ 回答の途中で中断し、その後再開する場合も上記の方法でアクセスしてください。
- ◆ 10月 日()までにご回答願います。



インターネットでの回答が困難な場合

- ◆ 直接この調査票に、濃い鉛筆又は黒ボールペンで回答を記入してください。
- ◆ お答えいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数はそれぞれの設問の指定に従ってください。
- ◆ この調査票に回答を記入後、同封の返信用封筒に入れ（切手は不要です）、10月 日()までに郵便ポストにご投函願います。

＜本調査に関するお問い合わせ先＞

石川県成長戦略推進室（担当：津川、^{つがわ} 篠木、^{ささき} 鬼原、^{きはら} 高田^{たかた}）

TEL : 076-225-1308

FAX : 076-225-1315

E-mail : seicho@pref.ishikawa.lg.jp

あなたご自身について

A. あなた（回答者ご本人）の性別をお答えください。

1	男	2	女	3	無回答
---	---	---	---	---	-----

B. あなたの年齢は以下のどれに該当しますか。番号に○をつけてください。

1	18歳～24歳	7	50歳～54歳
2	25歳～29歳	8	55歳～59歳
3	30歳～34歳	9	60歳～64歳
4	35歳～39歳	10	65歳～69歳
5	40歳～44歳	11	70歳～74歳
6	45歳～49歳	12	75歳以上

C. あなたの現在の職業は以下のどれに該当しますか。番号に○をつけてください。

1	会社員・公務員（事務系・技術系）
2	〃（労務・販売・サービス系）
3	商・工・サービス業（小売店・飲食店など）の自営業者・家族従事者
4	農・林・漁業の自営業者・家族従事者
5	自由業（開業医・弁護士・芸術家など）の自営業者・家族従事者
6	専業主婦・主夫
7	学 生（予備校・専門学校含む）
8	無 職
9	その他（具体的に ）

D. 現在の場所（市町）にお住まいになって何年になりますか。該当する番号に○をつけてください。

1	1年未満
2	1年以上5年未満
3	5年以上10年未満
4	10年以上20年未満
5	20年以上30年未満（生まれた時からずっと）
6	〃（生まれた所は違う）
7	30年以上（生まれた時からずっと）
8	〃（生まれた所は違う）

E. 現在あなたと一緒に住まいの方の人数は、あなたを含めて何人ですか。該当する番号に○をつけてください。

1	1人（ご本人だけ）	5	5人
2	2人	6	6人
3	3人	7	7人以上
4	4人		

F. あなたの世帯の家族構成は、以下のどれに該当しますか。該当する番号に○をつけてください。

1	単身世帯	4	ひとり親と子どもの世帯
2	夫婦のみの世帯	5	3世代世帯（親・子・孫）
3	夫婦と子どもの世帯		

G. あなたといま一緒に住まいの方の中に、以下のような方はいらっしゃいますか。

該当する番号すべてに○をつけるとともに、（ ）にその人数を記入ください。

1	小学校入学前の乳幼児（ 人）	5	大学生（※）（ 人）
2	小学生（ 人）	6	65歳以上の方（ 人）
3	中学生（ 人）	7	そのような人はいない
4	高校生（ 人）		（※）大学生には予備校、専門学校、高専短大を含む

H. あなたが現在住まいの市町はどこですか。該当する番号に○をつけてください。

1	金沢市	11	野々市市
2	七尾市	12	川北町
3	小松市	13	津幡町
4	輪島市	14	内灘町
5	珠洲市	15	志賀町
6	加賀市	16	宝達志水町
7	羽咋市	17	中能登町
8	かほく市	18	穴水町
9	白山市	19	能登町
10	能美市		

生活面に関する質問

住みやすさについて

問1 あなたが普段生活する上で、いま住んでいる地域（市町）の住み心地はどうですか。
次の項目から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 とても住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば住みにくい
- 5 住みにくい

問2-1 あなたがいま住んでいる地域（市町）にこれからも住みたいと思いますか。
次の項目から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 ずっと住み続けたい
- 2 住み続けたいが、将来はわからない
- 3 どちらともいえない
- 4 良いところがあれば移りたい
- 5 ぜひ、よそへ移りたい

問2-2 問2-1で4または5を選んだ方にお聞きします。
どんな地域（場所）に移りたいと思いますか。
以下の地域から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

	現在お住まい の市町の		県外※
	内	外	
農村など自然環境の良い地域	1	2	3
都市部など生活に便利な地域	1	2	3
その他（具体的に)	1	2	3

※県外の場合は「3」をお選びください。

問3 あなたは、普段生活する上で、いま住んでいる地域（市町）に満足していますか。
それぞれの項目について1つだけ選び、番号に○をつけてください。

		満足しない	満足しない	満足しない	満足しない	満足しない
		満足しない	満足しない	満足しない	満足しない	満足しない
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 1～19それぞれの項目について 該当する番号に○をつけてください </div>						
〔記入例〕	1 △△△・・・	1	②	3	4	5
1	交通の便利さ	1	2	3	4	5
2	買い物の便利さ	1	2	3	4	5
3	周辺の自然環境	1	2	3	4	5
4	食材の豊かさ、食べ物のおいしさ	1	2	3	4	5
5	地域の治安のよさ	1	2	3	4	5
6	働き口・就職先	1	2	3	4	5
7	街並みや景観の美しさ	1	2	3	4	5
8	病院、診療所などの医療施設	1	2	3	4	5
9	保育所や放課後児童クラブなどの子育て支援施設	1	2	3	4	5
10	デイサービスセンターなどの福祉施設	1	2	3	4	5
11	学校教育施設	1	2	3	4	5
12	公民館、図書館などの社会教育施設	1	2	3	4	5
13	美術館、博物館、ホールなどの文化施設	1	2	3	4	5
14	公園、広場、緑地などの施設	1	2	3	4	5
15	スポーツ、レジャーのための施設	1	2	3	4	5
16	道路の整備状況	1	2	3	4	5
17	し尿、下水、ゴミ処理などの整備状況	1	2	3	4	5
18	洪水や地震などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5
19	総合的にみた住みよさ	1	2	3	4	5

幸福度について

問4 現在、あなた自身はどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸せ」を0点とすると、何点ぐらいになると思いますか。
いずれかの数字を1つだけ選び、番号に0をつけてください。

←とても不幸せ					とても幸せ→					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問5 あなたは問4の幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。

最も重視する事項を第1位から第3位まで、番号を記入してください。

第1位	
第2位	
第3位	

社会のデジタル化について

問6 あなたは普段どのようなインターネットサービスを利用していますか。
当てはまるもの全て選び、番号に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 情報検索（Google、Yahoo!など） |
| 2 ホームページやブログ（閲覧・開設・更新・書き込み） |
| 3 SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagram など） |
| 4 ショッピング（ネットショップ、オークションなど） |
| 5 娯楽・スポーツ（音楽、映画、ゲーム、動画視聴など） |
| 6 銀行（残高照会、ネットバンキング） |
| 7 通信教育、遠隔授業（eラーニング、オンライン授業） |
| 8 在宅勤務、遠隔地会議（テレワーク、テレビ・Web 会議） |
| 9 オンライン診療 |
| 10 国や自治体の行政手続き（電子申請・納付、公共施設の予約など） |
| 11 その他（具体的に) |

県政への満足度やニーズに関する質問

雇用や産業について

問7 あなたは健康であったならば、何歳くらいまで仕事をしたいと思いますか。
次の中から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|---------------|
| 1 60歳くらいまで | 4 75歳くらいまで |
| 2 65歳くらいまで | 5 何歳になっても働きたい |
| 3 70歳くらいまで | 6 その他 () |

問8 あなたは60代以降に仕事を持つとすれば、どのようなことがらを重視して選びますか。
次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1 自分の経験を活かす | 6 趣味とつながる |
| 2 社会に貢献する | 7 収入 |
| 3 仕事時間が長くない | 8 自宅のできる
(自分で自由に切り盛りできる) |
| 4 通勤が楽である | 9 今の仕事を続けたい |
| 5 あまり体力を必要としない | 10 その他 () |

問9 人口が減少すると労働人口も減り、経済の活力が衰えるおそれがあります。そのような中で、産業の担い手を確保・育成していくために、働く環境も含め、どのようなことに力を入れることが必要だと思いますか。次の項目から**3つまで選び**、番号に○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 正規雇用以外のさまざまな就業形態の拡大 2 残業（所定外労働）の縮減に向けた取組みの促進 3 育児・介護を行う従業員に対する支援（育児や介護のための労働時間面での配慮等） 4 出産・育児を終えた女性の再就職への支援 5 UJターン（※）への取組みの強化 6 若者の就職支援 7 障害者の就職支援 8 再就職支援の充実（4以外の場合） 9 職業能力開発への支援 10 専門的、技術的分野の外国人労働者の積極的活用 11 高齢者雇用に向けた職場環境の整備（作業環境面、健康管理面など） 12 後継者育成や担い手育成確保が求められる産業への就業支援 13 創業に関する支援 14 その他（具体的に |) |
|--|---|

（※）Uターン、Iターン、Jターンを総称していいいます。

Uターン：生活拠点を出身地へ戻すこと、Iターン：生活拠点を出身地以外の地方へ移すこと

Jターン：生活拠点を出身地に近い地方都市へ移すこと

問10 農林水産業は、我々に食料を供給する重要な役割を果たしています。一方、農林漁業者の減少や高齢化に加え、農林水産物の価格低迷や人口減少に伴う国内市場の縮小等により、農林水産業を取り巻く環境は厳しくなっています。今後、農林水産業を活性化させるには、どのようなことが必要であると思いますか。次の項目から**3つまで選び**、番号に○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 農林水産業を担う新規就業者の確保・育成 2 特色ある県産農林水産物のブランド化 3 ほ場整備や農地の集積を通じた経営規模の拡大 4 スマート農林水産業の推進による生産性の向上 5 化学肥料・農薬等を低減した環境にやさしい農業の推進 6 農林漁業者が生産したものを、自ら加工して販売する取組（6次産業化）の推進 7 食や農林水産業に対する理解を深める「食育」の推進 8 「地産地消」の推進 9 安全・安心な農林水産物の生産の推進 10 世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力を生かしたスローツーリズム（※）の推進 11 その他（ |) |
|--|---|

（※）スローツーリズムとは、農家民宿を核に、「食」をはじめとする里山里海の魅力を地域で一体的に提供する取り組みです。国内外から農山漁村に観光客を呼び込むことで、農林漁業を中心とした多様な収入源の確保につなげ、地域の活性化を図るものです。

環境保全について

問11 農地や森林は、食料や木材を提供するだけでなく、人々の憩いの場となっているほか、地下水を豊かにしたり、洪水や山崩れを防ぐなど様々な機能を持っていますが、一方で、耕作されていない農地や荒廃した森林の増加が問題になっています。農地や森林の荒廃を防ぐためには、具体的にどのような対応が必要だと思いますか。次の項目から**3つまで選び**、番号に○をつけてください。

- 1 スマート農林業やブランド化等の収益性向上の取り組みによる、農林業の持続的な経営
- 2 農地や農業用水、森林などの管理を、農林業者以外の人々も含めた地域全体で行う仕組みづくり
- 3 地域内外の企業や農業法人による農業参入の促進
- 4 都市住民が農作業や森林整備を行うボランティア活動の促進
- 5 NPOや企業等による森づくり活動の促進
- 6 県産材の生産と利用の拡大による森林資源の循環利用の推進
- 7 森林が吸収する二酸化炭素の量を、企業が排出した二酸化炭素と取引できる制度（J-クレジット）を利用した森林整備の推進
- 8 農地や農道、林道などの整備の推進
- 9 道路や通信サービスなど生活インフラの確保による農山村の人口維持
- 10 その他（ ）

問12 自然と人が共生できる環境づくりを進めていくうえで、どのような方法がよいと思いますか。次の項目から**3つまで選び**、番号に○をつけてください。

- 1 里山里海の活性化を図るため住民や企業、NPOなど多様な主体の参画を進める
- 2 本来の自然の姿や変化の仕組みなどについて十分な調査研究を進める
- 3 希少な動植物が絶滅しないように、保護や復元の対策を講じる
- 4 生態系に影響を及ぼすブラックバスなどの外来種対策を講じる
- 5 鳥獣害が拡大しないように、適切な捕獲や被害防止対策を充実する
- 6 開発を行う事業主体が、十分な環境調査を実施し、保全対策を講じる
- 7 生物多様性や里山里海から得られる恵みやその価値をわかりやすく普及・啓発する
- 8 自然環境や生きものについて、実際にふれあい、親しみ、学習する機会を得られるよう環境整備を進める
- 9 本県の美しい海岸、砂浜などを保全する施設の整備を推進する
- 10 その他（具体的に ）

問 13 地球温暖化の防止をはじめ、環境にやさしい社会づくりを目指すうえでどのような対策が必要だと思いますか。次の項目から特に重要だと思うものを**3つまで選び**、番号に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 学校や保育所、職場や地域での環境教育や環境保全活動を促進する |
| 2 家庭での省エネ・節電、省資源活動を推進する（クールシェア（※）の実践、エアコンの設定温度など身近なことから始められるエコ活動など） |
| 3 住宅の省エネ化を推進する（省エネ家電・設備の導入など） |
| 4 省エネ・省資源など環境に配慮した産業活動の推進やリサイクル産業など環境ビジネスに対する支援策を講じる |
| 5 家庭や事業所等における再生可能エネルギーの利用を促進する |
| 6 廃棄物の排出抑制や分別排出の徹底、廃棄物の再利用、リサイクルを推進する |
| 7 産業廃棄物の不法投棄の監視を強化する |
| 8 公共交通機関の利用やエコドライブ、電気自動車や燃料電池自動車などの環境に配慮した車の普及などを推進する |
| 9 河川、湖沼等の水質を保全するため、下水道などの生活排水処理施設の整備を促進する |
| 10 自然と人とが共生できる環境づくりを促進する（生態系の保全、緑や水辺の保全など） |
| 11 二酸化炭素の吸収源となる農地や森林を保全する |
| 12 県民、事業者、民間団体、行政等が協力した取組みを推進する |
| 13 その他（具体的に _____） |

（※）家庭のエアコン等を消して涼しい場所に出かけることにより、節電につなげる取組みのことをいいます。

文化・スポーツ活動について

問 14—1 あなたは、どのような文化的活動（鑑賞、聴講などを含みます）を行っていますか。次の項目から**3つまで選び**、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|----------------------|-------------------------|
| 1 美術（絵画、彫刻） | 8 映像、写真 | 14 歴史的な建物や遺跡等の見学 |
| 2 音楽 | 9 文学、文芸
（俳句、短歌など） | 15 その他
（具体的に _____） |
| 3 手・工芸、陶芸 | 10 書道 | 16 行っていない（今後行いたい） |
| 4 邦楽、日舞 | 11 華道 | 17 行っていない（今後も行いたいと思わない） |
| 5 舞踊（ダンス・バレエなど） | 12 茶道 | |
| 6 演劇 | 13 囲碁、将棋 | |
| 7 能、謡曲 | | |

問 14-2 問 14-1 で 1 から 16 のいずれかを選んだ方にお聞きします。

より多くの方に文化的活動に参加してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の項目から **3 つまで選び**、番号に○をつけてください。

- 1 子どもや青少年が文化に親しむ機会を充実する（学校における活動を含む）
- 2 美術館や博物館において展示・解説を充実する
- 3 伝統芸能に親しむための鑑賞機会を充実する
- 4 一流の音楽や展覧会などの鑑賞機会を充実する
- 5 洋楽と邦楽のコラボなど、新たな文化の創造を進める
- 6 文化を気軽に体験できる文化イベントを充実する
- 7 文化施設が連携して共通利用券を発行するなど、利用しやすい環境をつくる
- 8 文化イベントなどに関する情報を一元的に発信する
- 9 地域の文化活動指導者や貴重な技術などの後継者を育てる
- 10 県民が行う自主的な文化活動を支援する（活動費の助成など）
- 11 街並みや建造物、史跡など歴史的な遺産を積極的に保存・活用する
- 12 その他（具体的に)

問 15-1 あなたは、スポーツ活動を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない（今後行いたい）
- 3 行っていない（今後も行いたいと思わない）

問 15-2 問 15-1 で 1 または 2 のいずれかを選んだ方にお聞きします。

より多くの方にスポーツ活動に参加してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の項目から **3 つまで選び**、番号に○をつけてください。

- 1 県民が参加できる各種のスポーツ行事、大会、教室を充実する
- 2 全国規模のスポーツ大会・スポーツイベント等を誘致、開催する
- 3 様々なジャンルのスポーツを体験できるスポーツイベントを充実する
- 4 子どもや青少年がスポーツに親しむ機会を充実する（学校における活動を含む）
- 5 一流のスポーツ選手との交流の機会を充実する
- 6 スポーツイベントなどに関する情報を一元的に発信する
- 7 スポーツ指導者を養成する
- 8 スポーツクラブやスポーツ団体を育成する
- 9 スポーツでの国際交流を促進する
- 10 スポーツに関する医・科学的研究を推進する
- 11 総合体育館や運動広場など、各種スポーツ施設を充実する
- 12 学校体育施設を整備・充実し、一般に開放する
- 13 その他（具体的に)

国際交流活動について

問 16 あなたは、以下の国際交流・協力活動にこれまで参加したことがありますか。
また、今後参加したいと思いませんか。
それぞれの項目について1つだけ選び、番号に○をつけてください。

		これまで参加したことがある		これまで参加したことがない	
		今後も参加したい	今後は参加したくない	今後は参加したい	今後も参加したくない
〔記入例〕 1 △△△・・・		1	2	③	4
1	国際交流・協力団体などでの活動	1	2	3	4
2	外国人のホームステイの受け入れ	1	2	3	4
3	外国人研修生や留学生などとの交流	1	2	3	4
4	自治会・町会活動を通じての外国人住民との交流	1	2	3	4
5	海外旅行や留学などでのホームステイ・交流など	1	2	3	4
6	海外での技術協力活動など	1	2	3	4
7	被災地域への義援金支援など	1	2	3	4
8	発展途上国への資金や物資の援助	1	2	3	4
9	言葉や生活での外国人をサポートするボランティア	1	2	3	4
10	その他（具体的に)	1	2	3	4

〔 1~10それぞれの項目について
該当する番号に○をつけてください〕

問 17 外国人住民と日本人住民の相互理解を深め、共生社会をつくっていくためには、どのようなことを行うべきだと思いますか。次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 外国人住民との交流の機会を増やす
- 2 外国人住民と日本人住民との間をつなぐ多文化共生の中心人物を発掘・育成する
- 3 日本人住民に対する外国語講座や国際理解に関する講座を開設する
- 4 外国人住民に対する日本語講座や生活習慣の勉強会を開設する
- 5 外国人住民に対する偏見や差別のない社会づくり（啓発活動）が必要
- 6 その他（具体的に)

地域づくりについて

問 18 地域の課題解決や活性化に向け、住民が自主的・主体的に取り組む地域づくり活動を進めるにあたって、どのようなことが必要だと思いますか。次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 地域づくり活動に役立つ情報の提供
- 2 各地域における地域づくり活動への理解や参加を促すための広報
- 3 地域づくり活動を行う方（団体・個人）同士の連携・交流の推進
- 4 地域づくりの活動を担う人材の育成・確保
- 5 専門家（アドバイザー、コーディネーター）の派遣等の人的な支援
- 6 地域おこし協力隊などの地域外からの人材等との連携・協働
- 7 市町など行政による支援
- 8 その他（具体的に _____)

保健・医療・福祉について

問 19 健康に関する情報で、今もっとも興味のあるものはなんですか。次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 適切な運動に関する情報
- 2 安全な食品や適切な栄養に関する情報
- 3 快適で適切な睡眠に関する情報
- 4 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）（※）などを要因とする、生活習慣病（糖尿病、高血圧、がん等）に関する情報
- 5 食物アレルギーやアトピーなどアレルギーに関する情報
- 6 健康食品やサプリメントに関する情報
- 7 ストレス、うつ病、ひきこもりなどに関する情報
- 8 その他（具体的に _____)

（※）内臓脂肪の蓄積が、高血糖、高血圧、高脂血等を引き起こし、心筋梗塞や脳卒中などが起きやすくなる状態のことをいいます

問 20 以下の 1～5 の場合、どの医療機関を利用していますか、あるいは利用しようと思いませんか。
 それぞれの項目について 1 つだけ選び、番号に○をつけてください。
 「その他」の場合には、() 内に具体的なあなたの行動等をお書きください。

〔 1～5 それぞれの項目について 該当する番号に○をつけてください〕	大学病院や 県立病院	近くの 病院	近くの 診療所	その他 (具体的に)
	※1		※2	
〔記入例〕 1 △△△・・・	1	2	3	4 (かかりつけの医者に電話で相談)
1 脳卒中や心臓病、がんなど 重い病気の場合	1	2	3	4 ()
2 風邪など軽い病気の場合	1	2	3	4 ()
3 夜間や休日にけがをした場合	1	2	3	4 ()
4 夜間や休日に子どもが 急に高熱を発した場合	1	2	3	4 ()
5 交通事故や転倒事故の後の リハビリテーションの場合	1	2	3	4 ()

(※1) 独立行政法人国立病院機構金沢医療センターを含みます。

(※2) ○○クリニックや○○医院などを含みます。

問 21 障害のある人の社会参加を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 次の項目から 3 つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 県民が障害についての理解を深め、障害を理由とする差別を解消するための啓発・広報活動
2 スポーツや文化芸術活動等いろいろな分野での交流の推進
3 障害の原因となる病気の早期発見や、治療や療育、リハビリ等の充実
4 障害のある人の適性と能力に応じた雇用の場の拡大
5 障害年金などの所得保障
6 民間施設のバリアフリー環境の整備や福祉用具の研究開発の推進
7 障害のある人が地域で暮らすために必要な福祉サービスの充実
8 障害のある人やその家族が身近な場で相談できる環境の整備
9 その他 (具体的に) |
|---|

少子・高齢化について

問 22 超高齢社会が到来した現在において、どのような対策が必要だと思いますか。
それぞれの枠の中から必要だと思う項目を3つまで選び、番号に○をつけてください。

【サービスについて】（3つまで選び、番号に○）

- 1 要介護状態になることを予防する取り組みを推進する
- 2 24時間対応可能な在宅介護サービスを充実する
- 3 サービス付き高齢者向け住宅など高齢者向けの住まいを充実する
- 4 ボランティアなどによる高齢者の日常生活を支える地域づくりを推進する
- 5 在宅において医療と介護を一体的に受けられることができるよう
医療職と介護職の連携を推進する
- 6 特別養護老人ホームなど入所介護施設を充実する
- 7 介護サービスを支える介護職員などの人材確保を推進する
- 8 早期発見や地域による見守りなど認知症施策を推進する
- 9 高齢者サロンなど地域における高齢者の通いの場を充実する
- 10 高齢者の介護を担う家族への支援を充実する
- 11 高齢者に対する虐待防止など権利を擁護する対策を充実する
- 12 その他（具体的に)

【健康・生きがいづくりについて】（3つまで選び、番号に○）

- 1 健康診断、介護予防、健康管理対策を充実する
- 2 体力づくりなど健康増進対策を推進する
- 3 高齢者の能力に合った働く場を確保する
- 4 老人クラブや趣味の会などを育成する
- 5 老後に備えた生涯学習の場を充実する
- 6 ボランティアなど奉仕活動に参加する場を充実する
- 7 毎日の生活の中で家族や友人などとのふれあいの場を充実する
- 8 その他（具体的に)

問 23 すこやかに子どもを生き育てていくために支援していく分野として、大切だと思われる分野を次の項目から2つまで選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| 1 結婚 | 2 妊娠・出産 | 3 子育て支援（※1） |
| 4 子どもの育ち（※2） | 5 働き方の見直し | |

（※1）親が子どもをどう育てていくかに関することをいいます。

（※2）子どもがどう育っていくかに関することをいいます。（具体的には問 27 をご覧ください）

問 24 結婚支援として、どのような施策に力を入れていく必要があると思いますか。
次の項目から2つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1 出会いの機会の創出（パーティーなど） |
| 2 見合いなどをお世話する支援やサービス |
| 3 結婚講座の開催（異性とのコミュニケーション、ファッション、マナーなど） |
| 4 出合いや結婚に必要な情報の提供や相談窓口の充実 |
| 5 結婚費用や結婚後の住まい、暮らしへの支援 |
| 6 その他（具体的に) |

問 25 妊娠・出産支援として、どのような施策に力を入れていく必要があると思いますか。
次の項目から2つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 若い世代への妊娠・出産・育児に関する知識の啓発 |
| 2 不妊治療費の負担軽減及び不妊に関する相談窓口の充実 |
| 3 妊娠・出産に関する相談窓口の充実 |
| 4 マタニティマークの普及啓発などの妊婦に優しい環境づくり |
| 5 産後早期からの母子への心身のケアの充実 |
| 6 その他（具体的に) |

問 26 子育て支援として、どのような施策に力を入れていく必要があると思いますか。
次の項目から2つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 医療費や保育料の助成などの経済的支援の充実 |
| 2 教育費の負担軽減 |
| 3 子育て支援サービス（保育所、放課後児童クラブなど）の充実 |
| 4 子育て支援に関する相談窓口の充実 |
| 5 三世同居や近居の促進 |
| 6 その他（具体的に) |

問 27 子どもの育ちを支援するために、どのような施策に力を入れていく必要があると思いますか。
次の項目から 2 つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 次代を担う子どもたちに命の大切さや子どもを生み育てることの意義について理解を深める機会の提供
- 2 子どもの心の問題（ひきこもり、いじめなど）に対するケア
- 3 子どもの健全育成（様々な体験事業や携帯電話等の利用規制など）
- 4 食に関する知識と食を選択する力（栄養バランスや安全性を考えた食などを選択する力）を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる「食育」の推進
- 5 子どもの貧困対策の推進
- 6 その他（具体的に)

問 28 仕事と子育ての両立に向けて、働き方の見直しを進めていくためには、どのような施策に力を入れていく必要があると思いますか。次の項目から 2 つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 子育てに対する企業・職場の理解の促進
- 2 休暇・休業制度の企業や労働者への周知
- 3 出産、子育てが一段落した後の再雇用制度の充実
- 4 働き方の見直しに関する取組み手法の企業へのアドバイス
- 5 大学生など若い世代が将来の仕事と生活の両立について考える機会の提供
- 6 その他（具体的に)

教育について

問 29 学校教育について、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。
次の項目から 3 つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 読み・書き・計算など基礎・基本を習得する
- 2 専門的・技術的な知識や技能を身につける
- 3 創造的な能力や自主性、個性を伸ばす
- 4 食事や挨拶などの基本的な生活習慣を育成する
- 5 郷土愛や社会規範意識を育てる
- 6 健康の増進や体力を伸ばす
- 7 将来の社会人として必要な勤労観、職業観を育てる
- 8 その他（具体的に)

問30 大学など高等教育機関の集積(※)をさらに生かすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 大学間連携を一層強め、他大学などで単位を取得できる仕組みの充実などにより、教育研究の効果を高める |
| 2 広く一般県民が大学の授業を受ける機会を増やし、学びの機会の充実を図る |
| 3 学生による地域イベントへの参加など地域交流や地域づくりの参画を進め、地域の活性化を図る |
| 4 教員や学生による研究成果を生かした地域課題の解決の取り組みを促進し、地域の活性化を図る |
| 5 教員や学生の調査や研究の取り組みについて、わかりやすく情報発信する |
| 6 新製品・新技術開発等への支援体制の充実を図り、県内産業の活性化を図る |
| 7 産学官金の連携を促進し、課題解決や事業創出などの取り組みのさらなる充実を図る |
| 8 県内大学等の学生や留学生の県内企業への就職などを促進し、地元への定着を図る |
| 9 その他(具体的に) |

(※) 石川県における大学・短大及び高等専門学校数は、全国第1位(人口10万人当たり)、学生数は全国第3位(人口千人当たり)となっています。(令和3年5月現在 文部科学省学校基本調査及び総務省統計局の国勢調査による)

問31 生涯学習・社会教育について、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。
次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1 オンライン講座、通信教育などを充実する |
| 2 地域の学習会や出前講座などを充実する |
| 3 大学の公開講座などを充実する |
| 4 学びの成果を発表できる機会を提供する |
| 5 公民館や図書館などの学習施設を充実する |
| 6 各種団体やサークル活動を支援する |
| 7 学習情報の提供や相談体制を充実する |
| 8 指導者の養成体制を整備する |
| 9 青少年の体験活動を充実する |
| 10 その他(具体的に) |

地域公共交通について

問 32 安全・安心で快適な県民生活や地域経済の活性化のために、どのような地域公共交通政策の充実が必要だと思いますか。次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 日常生活の足となる鉄道路線・バス路線（コミュニティバスやデマンド型交通を含む）の維持・確保
- 2 交通系ICカードなどキャッシュレス決済の導入
- 3 自動運転など新技術を活用した交通サービスの導入
- 4 誰もが利用しやすい車両や駅など公共交通機関のバリアフリー化の推進
- 5 拠点となる空港や鉄道の駅から観光地までの二次交通の充実
- 6 パークアンドライドなど車に過度に依存しない環境の整備
- 7 その他（具体的に _____ ）

基盤整備について

問 33 石川県の基盤整備について、何に重点をおいて進めればよいと思いますか。次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 幹線道路などの時間距離を短縮し、移動を円滑化する道路の整備
- 2 新幹線、空港、高速道路、港湾による県外との広域交流を拡大するインフラ整備
- 3 頻発する集中豪雨に備えた河川改修や土砂災害対策
- 4 地震による大規模災害に備えた緊急輸送道路の機能強化や公共建物・民間住宅の耐震化
- 5 主要観光地や温泉街などの魅力づくり、賑わい創出に向けた取り組み
- 6 子供達や高齢者が親しめる公園など生活に潤いを与える都市空間の整備
- 7 身近な生活道路における歩道整備などの安全対策
- 8 老朽化が進む公共施設の計画的な長寿命化対策
- 9 光ファイバや5Gなどの情報通信基盤の整備
- 10 その他（具体的に _____ ）

安全・安心について

問 34 災害等から生命、身体、財産を守るため、特に力を入れてほしい対策はどのようなことですか。
次の項目から 3 つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 地震の疑似体験や講演会等を通して防災意識の啓発を図り、「自分の身は自分で守る」という「自助意識」を高める
- 2 自主防災組織（※）の充実強化を図り、隣近所で助け合うという「共助意識」を高める
- 3 災害時に円滑な避難所運営等が図られるようマニュアルを整備するなど、機動的な体制づくりに努めるとともに、避難訓練等を通して住民に周知を図る
- 4 災害発生初期に必要な食料、飲料水等の非常物資の備蓄を充実する
- 5 気象情報や地震、水害、土砂災害などの災害情報の住民への迅速・的確な伝達体制を構築する
- 6 高齢者等の避難行動要支援者の対策を充実する
- 7 消防団活動の活性化を図り、地域の消防団員の増強を図る
- 8 災害ボランティアを育成するための研修等を充実する
- 9 大規模災害に対応できるよう広域化など消防体制を充実強化する
- 10 武力攻撃事態等における避難や救援の仕組みを定めた国民保護計画の啓発と訓練を通じ計画の実効性を高める
- 11 災害時の救命活動や支援物資の輸送を行うために必要な緊急輸送道路や防災拠点の機能を強化する
- 12 豪雨や台風、冬期波浪などの自然災害から生命、財産を守るため、河川改修や海岸保全施設などの整備を促進する
- 13 その他（具体的に _____ ）

（※）「自分たちの地域は自分たちで守る」ため、自主的に結成する組織です。町内会や自治会組織の単位で設置・運営しているケースが多くあります。

問 35 犯罪被害から子どもを守るため、どのような取組みが必要だと思いますか。
特に必要だと思うものを次の項目から 3 つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 警察官によるパトロール（特に通学路や登下校時間帯）を強化する
- 2 学校や家庭、地域に対して声かけ事案などの不審者情報を迅速に提供する
- 3 地域ぐるみ（PTA、防犯ボランティア団体等）による子ども見守り活動を強化する
- 4 学校で緊急時（連れ去りや声かけなど）の対処方法などの安全教育を行う
- 5 家庭においても日頃から防犯について話し合う
- 6 防犯ブザー等の携帯を呼びかける
- 7 街灯の設置など子どもの安全確保に配慮したまちづくりを推進する
- 8 その他（具体的に _____ ）

効率的・効果的な行財政運営について

問 36 より効率的・効果的な行財政運営に向け、どのような取組みが必要だと思いますか。次の項目から、特に重要だと思うものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 政策課題に柔軟かつ機動的に対応できる組織づくり
- 2 職員の資質や能力の向上
- 3 県政情報提供の充実、県政への県民参加の促進
- 4 地域における多様な主体（NPO、市町、企業、大学等）との連携・協働
- 5 民間ノウハウの活用（県が行っている業務の民間への委託など）
- 6 歳出の抑制（県が行う事務事業・補助金の見直しなど）
- 7 歳入の確保（税金の徴収対策の強化など）
- 8 デジタル技術の活用（行政手続きのオンライン化など）
- 9 その他（具体的に _____)

県政全般に関する意見

問 37 最後に、これまでお聞きした設問に関することや県政全般について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

（記入欄）

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒（切手不要）でご返送ください。